

産業イノベーション創出型重点プロジェクトに対する意見への対応等について

(1) 全般的なご意見

「対応等」欄中の番号と重点プロジェクトの対応表

産業分野	番号	プロジェクト名	県関係機関
健康・医療 (10 プロジェクト)	①	ブレメディカルケア産業の集積形成	佐久地域振興局
	②	材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成	産業労働部
	③	東信州広域連携による次世代自立支援機器、産業機器製造業の集積形成	上田地域振興局
	④	超精密加工技術による医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成	諏訪地域振興局
	⑤	オープンイノベーションによる日常生活動作支援産業の集積形成	上伊那地域振興局
	⑥	すんき等の発酵食品による地域のブランディングを通じた産業の集積形成	木曾地域振興局
	⑦	住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成	松本地域振興局
	⑧	ヘルスツーリズムの活性化に資する農商工連携型産業の集積形成	北アルプス地域振興局
	⑨	からだに優しい食品製造業の集積形成	産業労働部、工業技術総合センター
	⑩	地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成	長野・北信地域振興局
環境・エネルギー (4 プロジェクト)	⑪	信州カラマツ活用型産業の集積形成	松本地域振興局
	⑫	「水浄化関連技術」の事業化を通じた関連産業の集積形成	産業労働部
	⑬	ゼロエミッション生産技術の実現による環境調和型産業の集積形成	工業技術総合センター
	⑭	高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成	長野地域振興局
次世代交通 (1 プロジェクト)	⑮	航空機システム産業の集積形成	産業労働部、諏訪・上伊那・南信州地域振興局

【小澤部会長】

意見及びその理由	対応等
・「(1) プロジェクトの目指す姿」について、5年後に目標値を達成する旨追記していただきたい。	・プロジェクトの目指す姿に、5年後に目標値を達成する旨記載しました。
・「(3) プロジェクトの優位性」の部分について、「～を目指す本プロジェクトは、以下の優位性がある。」と記載されているものと、そうではないものと混在しているため統一していただきたい。	・「～を目指す本プロジェクトは、以下の優位性がある。」に統一しました。

【杉原専門委員】

意見及びその理由	対応等
<p>「健康・医療」分野は計 10 件のプロジェクトが提案されていますが、当該分野の産業特性からして特定地域のみで完結するものではなく、さらには、県内の多様なリソース（産業技術、大学、医療機関、その他の支援組織等）を効果的かつ効率的に共有したほうが、より良い成果が創出されることは疑いの余地がありませんので、プロジェクト間（地域間）の連携・融合等を要望します。</p>	<p>・計画当初は、3 分野に関する 15 の重点プロジェクトを実施したいと考えております。計画期間中は、プロジェクト相互の連携や競争を活性化するなど、戦略的にプロジェクトのマネジメントを行う予定です。より効果的かつ効率的にプロジェクトを推進できるよう、必要に応じてプロジェクト間（地域間）の連携・融合等も図ってまいります。</p>
<p>KPI の目標数値が期間中に頭打ちになるプロジェクトが複数ありますが、期間中に該当する支援を打ち切る前提なのか、別途理由があるのか不明瞭です。</p>	<p>①非該当 ②非該当 ③非該当 ④非該当 ⑤非該当 ⑥非該当 ⑦非該当 ⑧現時点においては、本プロジェクト参画予定の管内企業ニーズ等を踏まえ、5 年間で製品開発プロジェクト推進件数 2 件としておりますが、計画期間において、管内企業の本プロジェクト参画希望ニーズ等があれば、製品開発プロジェクト推進件数を増やす可能性があります。 ⑨非該当 ⑩（回答の対象＝有用発酵微生物等の探索件数）最初の 2 年間で有用発酵微生物等を集中的に探索し、その後、探索した微生物により、新たな商品開発を行う予定です。従いまして、2 年目以降は、有用発酵微生物等の探索件数は増えないこととなります。 ⑪非該当 ⑫非該当 ⑬非該当 ⑭非該当 ⑮非該当</p>
<p>全体的に、KPI の目標値が低いと思います。目標達成のための予算措置が見えないためと推測しますが、積極的に政府資金等の導入を図る等の取り組みを並行して行い、より大きな成果創出を目指すことも検討されてはいかがでしょうか</p>	<p>①ご指摘を踏まえ、目標値（KPI）に売上高を追加しました。 ②非該当 ③KPI については、未確定な部分が多いため、現状の目標値のままとします。政府資金等の導入については検討します。 ④「医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成」では参入初期の段階では大きな成果は難しいことが多いので、長期的なスパンで支援に取り組む必要があります。</p>

意見及びその理由	対応等
	⑤計画期間はコアとなる技術・製品を開発・実証していく期間ととらえ、将来の集積に向け取り組みます。
	⑥すんぎ関連商品の売上は、原材料である赤かぶの生産量に左右されるため、赤かぶの生産量の拡大目標と合わせ、現状の目標値のままとします。
	⑦ヘルス・ラボの登録者数及び実用化検証件数は、松本市の計画に基づいた高めの数値となっています。一方、展示会の成約金額は、企業の出展促進等により目標値を高く修正しました。
	⑧ご指摘を踏まえ、目標値を上方修正しました。
	⑨非該当
	⑩ご指摘を踏まえ、目標値を上方修正しました。
	⑪K P Iに製品開発件数を追加し、より高い目標値とします。
	⑫非該当
	⑬共同研究などにより直接支援した場合の製品化件数の予想を記載したものです。過去の実績、職員の業務状況等を踏まえた目標値としております。
	⑭（回答の対象＝抽出希少糖の売上）最初の2年間は技術開発が中心となり、3年目以降、徐々に売上を伸ばしていく計画であるため、現在記載している売上額を増額することは難しい状況です。政府資金等の導入については検討します。
	⑮非該当

【森専門委員】

意見及びその理由	対応等
<p>15 のプロジェクトは独立しているものと見えます。地域独自で提案してきていますので、地域や提案部局で整理されてきたことによるものとは思いますが、タイトルや中身を拝見させていただくと類似するものが多く含まれます。たとえば、②－⑦－⑩や①－⑤などです。</p> <p>内容がダブっても地域が違えば同時並行して行っているとお考えなのかもしれませんが、類似性の部分はさらにプロジェクト間のシナジー効果を高めて、無駄なくより効率的に行っていくような関係を盛り込んでみるということはどうでしょうか。たとえば、⑦や⑩は地域健康資源を活用した具体的な高付加価値食品の創出、②はそれを産業として創出、発展、定着させるための戦略や仕組みづくりなどの推進と位置づけてみることです。これにより、②を⑦と⑩のビジネス的には上位概念と位置づけ、②の成果を⑦や⑩を加速化させるプロジェクトと位置づけてみて、シナジー効果でより短期間で効果的な成果獲得を目指すことです。</p> <p>また①と⑤については出口の健康医療機器は類似です。「精密」でも類似です。①の「材料」が違うだけです。工業技術総合センターがリエゾンスタッフとしての役割を果たすのかもしれませんが、お互いのプロジェクトの中に「それぞれで有機的な連携を目指す」というような文言を入れて、「よりシナジー効果を発揮する」という意思表示を入れることをご検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>このように 15 のプロジェクトの類似関係や入れ子関係などを整理し、それぞれの連携をうまく図ることによって効率化や成果の高度化に向けた仕組み作りも検討してみてもどうでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 15 の重点プロジェクトについては、相互の連携や競争を活性化するなど、戦略的にマネジメントを行う予定です。ご指摘いただきました「15 のプロジェクトの類似関係や入れ子関係などを整理し、それぞれの連携をうまく図ることによる効率化や成果の高度化に向けた仕組み作り」につきましては、「プロジェクトの戦略的なマネジメント」の一つの考え方となりますので、取組を進める中で検討してまいります。

【県中小企業振興センター】

意見及びその理由	対応等
<p>1 プロジェクト (PJ) の推進機関とPJ企画・運営・管理機関が異なるものがある。まとめ役・司令塔がはっきりせず、実際にスムーズに動くか心配である。推進機関が企画・運営・管理を担当したほうがいいのではないか。</p>	<p>・「重点プロジェクトの企画・運営・管理」については、推進機関と県（ものづくり振興課、地域振興局、工業技術総合センター）がその役割を担います。重点プロジェクトの推進体制には、各プロジェクトの進捗状況を俯瞰的に把握し、発生する諸課題の解決やプロジェクトの効果的推進を支援する機能等を持たせる予定としており、これによって、各プロジェクトが円滑に推進できるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>2 ほとんどのPJについて、参画メンバーに、PJの成果品を販売する企業及び実際に使う企業が入っていない。 このようなプロジェクトがとかく失敗に終わりやすいのは、①消費する側のニーズの把握が不十分で作り手が勝手に作る、②流通、販売を実際に担う企業を開発段階から巻き込んでいない、などによる場合が多い。 佐久、松本、木曾などには一部、流通や販売、使用する企業が入っているが不十分ではないかと思う。 振興センターの販路支援は場の提供やアドバイス等であり、振興センターが実際に売ることは不可能。</p>	<p>①「販売する企業及び実際に使う企業」について、プロジェクトを実施していく中で、必要に応じて協力を求めてまいります。 貴センターにおかれましても、プロジェクトの推進にご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>②成果品の販売企業、ユーザー企業については、材料技術や精密技術、航空関連技術等の各用途の研究開発・事業化を推進していく際に、最適な企業を検討し、参画を促進していきたいと考えています。</p> <p>③プロジェクトを進める中で明確にします。</p> <p>④プロジェクトを進める中で、製販企業や商社などもメンバーに加えていきたいと考えています。</p> <p>⑤非該当</p> <p>⑥非該当 ※参画メンバーの企業が商品開発及び販売を行います。</p> <p>⑦非該当 ※当プロジェクトは、住民ニーズをベースにした開発や実用化検証を行うところに強みがあり、また、中核機関である信州メディカル産業振興会には、健康医療機器関連商社も加入しています。</p> <p>⑧参画企業は、独自の販路を保有しています。 なお、計画期間中に、地元の観光業者（ホテルや道の駅等）等と連携した販促を検討しているので、県中小企業振興センターのご支援をお願いします。</p> <p>⑨プロジェクトを進める中で明確にします。</p> <p>⑩非該当 ※成果品を販売する企業や実際に使う企業がプロジェクトのメンバーに含まれています。</p> <p>⑪プロジェクト当初のアーリーステージにおいては、寸法安定化研究に特化し、それを活用した具体的な製品開発のステージに入ってから、成果品（寸法安定化材）を使う木工製造業者を巻き込んでいこうと考えています。</p> <p>⑫②と同様</p>

意見及びその理由	対応等
	<p>⑬成果品を販売する企業や実際に使う企業については、プロジェクトを推進する中で参画いただく予定です。</p> <p>⑭非該当 ※成果品を販売する企業や実際に使う企業がプロジェクトのメンバーに含まれています。</p> <p>⑮②と同様</p>
<p>3 参加メンバーに、団体の記載が多い。やる気のある企業を絞り込んでPJを進めないと成果は出にくいのではないかと。</p>	<p>①非該当</p> <p>②非該当</p> <p>③プロジェクトを進める中で明確にします。</p> <p>④プロジェクトを進める中で検討していきたいと考えています。</p> <p>⑤非該当</p> <p>⑥団体が一体となって活動しているため、企業のみ表記は控えます。</p> <p>⑦当プロジェクトは、当地域内にある支援機関等のプラットフォーム機能を活かし、住民ニーズに沿った製品を不特定の企業が健康医療産業に参入することを目指していることから、現時点において特定の企業のみを明記することは困難です。</p> <p>⑧非該当</p> <p>⑨プロジェクトを進める中で明確にします。</p> <p>⑩非該当</p> <p>⑪非該当</p> <p>⑫非該当</p> <p>⑬IoT・AIゼロエミッション研究会（仮称）は、今後設立するため、現時点では具体的な企業名を記載できませんが、同研究会は「やる気のある企業」を中心として運営します。</p> <p>⑭非該当</p> <p>⑮非該当</p>
<p>4 開発スケジュールが不明確。</p>	<p>・重点プロジェクトの実施スケジュールを作成しました（137頁）。</p>
<p>5 プロジェクトに要する経費、財源等の記載がない。</p>	<p>・経費、財源等については、現時点で明確となっている重点プロジェクトと、今後の県の予算編成や国等の助成制度を活用する中で明確となる重点プロジェクトがあります。従って、経費、財源等は、次期計画に記載するのではなく、プロジェクトを実施する中で明確にしていきたいと思います。</p>
<p>6 地域振興局やもの課でPJの企画、運営、管理が継続的にできるか不安。</p>	<p>・重点プロジェクトの推進体制には、各プロジェクトの進捗状況を俯瞰的に把握し、発生する諸課題の解決やプロジェクトの効果的推進を支援する機能等を持たせる予定としており、これによって、各プロジェクトが継続的に推進できるよう努めてまいりたいと考えております。</p>

【県テクノ財団】

意見及びその理由	対応等
・「(6) 創出される成果事例」の項目に、プロジェクトの事業内容と成果事例的なものが混在しており、項目名と内容が一致していない。項目名を「主な事業内容」等に変更するか、記載内容を統一すべき。	・「(6) 創出される成果事例」の記載内容については、製品や構築される生産体制など、重点プロジェクトで創出を目指す成果事例に統一しました。

(2) 個別の重点プロジェクトに対するご意見

「健康・医療」分野

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
①	プレメディカルケア産業の集積形成	<p>【小澤部会長、県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に、プレメディカル産業の定義を説明しないとプロジェクトの中味が理解できないのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「定義」について、記載を追加しました。
		<p>【小澤部会長、県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1) プロジェクトの目指す姿 「佐久市が設置する産業支援機関（仮）を中心とした支援」については、「支援」が目指す姿ではなく、「支援の先にあるもの」が目指す姿ではないのでしょうか。「佐久市による産業支援機関（仮）の設置」とすべきではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		<p>【小澤部会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(5) 目指す姿を実現するための方向 課題中にある「実証データ収集の場づくり」については、大学等評価機関を含めることが必要ではないのでしょうか。例えば佐久大学は、可能性はないか。松本地域振興局が取り組む「住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成」でも同じ趣旨の取組があるので、資料の記載（以下）を参考にしていきたい。 「松本大学等と連携した健康関連商品の開発、信州メディカルシーズ育成拠点、県工業技術総合センター等による評価・分析、松本ヘルス・ラボを活用した実用化検証」 	<ul style="list-style-type: none"> ・最適な評価方法は、案件によって様々です。そのため、記載のとおりとさせていただきます。
		<p>【小澤部会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(6) 創出される成果事例 「機器開発」とされているが、既に機器開発は終了しているのではないのでしょうか（マイクロストーン株のセンサー）。「機器開発」とするよりは、「開発した機器によるサービス展開」のようなイメージではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		<p>【県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」の「課題を解決するための具体的な方向性③」の「ISO や HACCP、知的財産権等の認証・取得」の表現の意味が分かりにくい。知的財産権は認証ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、修正しました。

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
②	材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成	<p>【小澤部会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(4) 集積形成を目指す産業分野の市場ニーズ」 【中長期的】の記載は「材料を起点として、県内企業の技術も搭載して開発する新たな健康・医療機器は、高成長を続ける医療機器市場のニーズを捉えてゆける可能性が高いこと」としてはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		<p>【県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州大学の材料技術シーズをどのように健康・医療分野の用途に結び付けていくのかの道筋が示されていない。なぜ、健康・医療機器関連産業の集積に結び付くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばカーボンナノチューブ複合材料の人工関節への用途展開、ゲルアクチュエーターやセルロースナノファイバーのアシストロボットへの用途展開など、具体的に事業化を進めている事例があるため、それらをモデルとしつつ、信州大学の他の材料技術シーズについても健康・医療機器分野への用途展開を検討することにより、関連産業の集積に結び付けられるのではないかと考えています（特定の技術シーズだけでなく、様々な材料シーズの可能性を検討したいため、上記事項は様式へは反映しません）。
		<p>【県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(6) 創出される成果事例」に、信州大学の材料技術シーズの新たな用途を検討するとあるが、「(5) 目指す姿を実現するための方向」には、新たな用途の検討が位置付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」におけるコンサルティングファーム等との連携の中で、用途展開可能性の検討を行うこととしております（既に反映しております）。
③	東信州広域連携による次世代自立支援機器、産業機器製造業の集積形成	<p>【小澤部会長、県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(1) プロジェクトの目指す姿」の「・既存の完成品等製造メーカーの更なる新製品開発支援及び新事業展開支援」の「支援」は削除すべきではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「支援」を削除しました。
		<p>【小澤部会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(2) 目標値(K P I) 及びその達成に向けたマイルストーン」目指す姿で記載されている「新製品開発」や創出される成果事例で記載されている「創出される製品」を踏まえると、目標値として「製品開発件数」を含めるべきではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に製品開発件数を追加しました。
		<p>【小澤部会長、県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットが「次世代自立支援機器、産業機器」と広範であるにもかかわらず、「(4) 市場ニーズ」ではロボットについてのみ記述され、かつ、ターゲットではないと思われる「手術支援ロボット」を用いて市場の有望さに言及しており、違和感があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「手術支援ロボット」を削除し内容を見直しました。 「自立支援機器・産業機器」は広義でロボットと捉えていますので、ロボット産業の市場動向についての記載は、そのままとしました。

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
		【県テクノ財団】 ・「(2)目標値」に「研究会参加企業数」とあるが、どのような研究会か不明。「(5)目指す姿を実現するための方向」にある「次世代成長産業の分野別研究会」と「生活動作支援ロボット技術の用途開発のための製品分野別研究会」のことであれば、それを明記すべき。	・「研究会参加企業数」→「プロジェクト参画企業数」へ修正しました。
④	超精密加工技術による医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(6) 創出される成果事例」 目指す姿に「生産体制の構築」がありますが、成果事例には記載がありません。	・成果事例に「生産体制の構築」を記載しました。
⑤	オープンイノベーションによる日常生活動作支援産業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(2) 目標値 (K P I) 及びその達成に向けたマイルストーン」 成果事例として「個人の体型にフィットする製品」が記載されていることを踏まえると、目標値に製品化件数を含めるべきではないでしょうか。	・「(2) 目標値 (K P I) 及びその達成に向けたマイルストーン」にプロジェクト産業に取り組む企業数を加えました。 目指す姿に産業の集積形成を掲げていますので企業の裾野を広げる取組を目標としました。
		【小澤部会長】 ・「(4) 集積形成を目指す産業分野の市場ニーズ」 箇条書きの段落記号が、他では使われていないものが使われており、統一してほしいと思います。	・箇条書きの段落記号を修正しました。
		【小澤部会長、県テクノ財団】 ・「(4) 市場ニーズ」のところで、「平成 47 年」は存在しないことが確定しているので西暦だけにすべきではないでしょうか。	・西暦に修正しました。
		【小澤部会長】 ・「(6) 創出される成果事例」 もう少し成果事例を充実できないでしょうか。	・成果事例として「上伊那産業支援機関ネットワークによる企業の課題解決の加速」を追加しました。
⑥	すんき等の発酵食品による地域のブランディングを通じた産業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」 項目として、「すんき用かぶ菜」の生産量の関係を含めるべきではないでしょうか。	・「すんき用かぶ菜」の生産量の関係を追記しました。
		【県テクノ財団】 ・「(1)プロジェクトの目指す姿」の「・発酵食品に関わる生産・加工・販売・・・」は、「・発酵食品に関わる原料生産・加工・販売・・・」ではないか。以下同じ。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
⑦	住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成	【小澤部会長、県テクノ財団】 ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」 「目指す姿を実現する上での課題」の④は「・・・法的規制等に関する知識の習得・・・」ではないでしょうか。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		【県テクノ財団】 ・「(7) 主な参画メンバー及び役割」におけるテクノ財団の役割が、(販路開拓支援、その他支援)となっているが、中小企業振興センターとの役割分担の違いを明確化するため、(コーディネート支援)に修正願いたい。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		【県テクノ財団】 ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」の「・・・方向性」の④の(公財)県テクノ財団は削除願いたい。現状では、法規制に関するセミナー等は実施していないため。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。
⑧	ヘルスツーリズムの活性化に資する農商工連携型産業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(2) 目標値(KPI)及びその達成に向けたマイルストーン」製品開発プロジェクト推進件数と成果事例に記載されている製品開発の想定例の件数との整合性がないのではないのでしょうか。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。 なお、プロジェクト1件で、複数の製品化の可能性があります。
		【小澤部会長】 ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」 具体的な方向性①について、地域資源製品開発支援センターによる支援は不要でしょうか。	・ご指摘を踏まえ、追記しました。
		【小澤部会長】 ・「(7) 主な参画メンバー及び役割」 プロジェクトの推進機関のフォントを統一していただきたい。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。
⑨	からだに優しい食品製造業の集積形成	【県テクノ財団】 ・国内外の食市場で優位性のある食品製造業の集積形成を目指すとしているが、国際競争力を有する食品製造業の集積に向けた具体的な施策の方向性が提示されていない。何によって国際競争力を確保しようとするのか。 海外の食市場のニーズを把握した上で、そのニーズに的確に応える新食品を創出する取組が提示されていない。	・ご指摘を踏まえ、海外展開による食のグローバル化に関する取組を追記しました。

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
⑩	地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(1) プロジェクトの目指す姿」 フォント（太字）や下線の有無を統一していただきたい。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		【県テクノ財団】 ・「(4)集積を目指す産業分野の市場ニーズ」の【短期的】は、「・近年、・・・微生物の働きによる、新たな機能性・・・」と修正願いたい。	・「近年、発酵食品中の微生物の働きによる、新たな機能性が発見されていることなどから、微生物等を含む地域資源の有効活用に今後の発展が期待できること」に修正しました。
		【県テクノ財団】 ・【中長期的】は、「・発酵食品・機能性食品は、・・・健康に良い食品として市場に定着し・・・」と修正願いたい。	・「発酵食品・機能性食品は、若年層から中高年層まで幅広い年齢層を取り込み、健康に良い食品として市場に定着しており、今後さらなる成長が期待されていること」に修正しました。

「環境・エネルギー」分野

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
⑪	信州カラマツ活用型産業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(1) プロジェクトの目指す姿」 「寸法を安定化した部材の製品展開と地域内外市場への展開」については、「寸法を安定化した部材の製品化と地域内外市場の開拓」とすべきではないでしょうか。	・ご指摘を踏まえ、修正しました。
		【小澤部会長】 ・「(2) 目標値 (K P I) 及びその達成に向けたマイルストーン」製品開発は件数を記載すべきでないでしょうか。	・ご指摘を踏まえ、件数を記載しました。
⑫	「水浄化関連技術」の事業化を通じた関連産業の集積形成	【県テクノ財団】 ・「(2) 目標値・・・」の「研究会への参画企業数」の研究会は、「(6) 創出される成果事例」に記載されている「材料技術活用展開研究会」のことであれば、それが分かるように記載すべき。	・「(2) 目標値・・・」の「研究会への参画企業数」の「研究会」が「材料技術活用展開研究会」と分かるよう修正しました。
		【県テクノ財団】 ・また、「材料技術活用展開研究会」は成果事例ではなく、成果事例を創出するためのツールであるので、「(5) 目指す姿を実現するための方向」に記載すべき事項。	・「材料技術活用展開研究会」は「(5) 目指す姿を実現するための方向」に記載するよう修正しました。
⑬	ゼロエミッション生産技術の実現による環境調和型産業の集積形成	【小澤部会長】 ・「(2) 目標値 (K P I) 及びその達成に向けたマイルストーン」 「センサ装置」は一般的な言葉でしょうか。	・より分かりやすくするため、「センサ装置」は「センサ利用 I o T 装置等」に変更しました。

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
		<p>【小澤部会長】 (6) 創出される成果事例 「自然エネルギーの有効利用により生産性が向上した産業」については、「自然エネルギーの有効利用による生産性の向上」とすべきではないでしょうか。</p> <p>【県テクノ財団】 ・「(6)創出される成果事例」の図の中に、(一財)県テクノ財団と記載されているが、削除願いたい。(公財)県テクノ財団のみがその位置に提示される理由がないため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、修正しました。 ・ご指摘を踏まえ、削除しました。
⑭	高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成	<p>【小澤部会長】 ・「(1) プロジェクトの目指す姿」 フォント (太字) や下線の有無を統一していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、修正しました。

「次世代交通」分野

番号	プロジェクト名	意見及びその理由	対応等
⑮	航空機システム産業の集積形成	<p>【小澤部会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(1) プロジェクトの目指す姿」 目指す姿には、成果事例にある「中核企業の参入・創出」の関係を記載すべきではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「プロジェクトの目指す姿」に記載されている「100社」には地域経済をけん引する優れた技術を持つ中核企業の参入も含まれます。一方、「100社」を実現するためには、中核企業に限らず広く裾野拡大を図る必要があると考えておりますので、現在のままの記載とさせていただきます。
		<p>【県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(5) 目指す姿を実現するための方向」の「課題を解決するための具体的方向性」の「⑧設備投資等・・・地域企業の拠点活用、・・・」の「拠点」については、ここでは、航空機システム拠点（＝クラスター）を意味していることから「拠点活用」という表現はおかしい。もし、旧飯田工業高校に設置された試験設備等を意味するのであれば、航空機システム拠点と明確に区別された表現を使用すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、「航空機システム拠点」（＝クラスター）と区別するため、単なる「拠点」ではなく「拠点施設」と記載しました。
		<p>【県テクノ財団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(7) 主要な参画メンバー及び役割」における【プロジェクトの推進機関】が、「長野県航空機産業推進会議」になっているが、同会議は、関係事業や参画機関の調整組織であって、主体的に事業を企画・実施化する機能を有していない。プロジェクトを主体的かつ総括的（専任的）に主導できる機関を明確に位置づけることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機産業は、一地方で推進できる産業ではなく、国や大学研究機関を巻き込んで進める必要があるため、「長野県航空機産業推進会議」をプロジェクトの推進機関として位置づけ、航空機産業振興ビジョンに基づき、航空機産業の全県への波及に向けた取組を進めていきます。